

発行/モザイク会議 議長 情野良夫 tel:042-3629-4162

モザイク会議事務局：〒185-0012 東京都国分寺市本町 4-12-4 司アートシティ 104

モザイク会議ホームページ：http://www.maa-jp.com/ Email:maafj@maa-jp.com

編集/作成：モザイク会議運営委員会

モザイク展 2016 - 絵本 -

会員によるモザイク展のお知らせ

* モザイクで作った「絵本」がテーマの展覧会です。絵本をモザイクで作ったらどうなるか、さまざまな解釈の作品を並べましょう。

募集要項

■ 会 期 2016年6月20日(月)～6月25日(土)

開場時間 10:00～18:00まで

(初日13:00～ 最終日17:00まで)

■ 会 場 外苑前 ギャラリー オリエ 展示室A・B室

■ 搬 入 6月20日(月) 10:00

■ 設 営 6月20日(月) 10:00～12:00

* 設営後、13:00からオープン

* レセプションを17:00から予定しています

■ 搬 出 6月25日(土) 17:00～18:00

■ 作品内容 モザイク作品(平面、立体を問いません)

一人2点まで

サイズ A3版(297×420mm)以内

■ 出品料 15000円(1点でも2点でも同じ金額)

■ 出品申込み 出品希望者は、はがきに「出品します。」と書いて2月末日までに小田 いくこまで送ってください。

〒162-0053 東京都新宿区原町 3-30-2-701 小田いくこ

申し込まれた会員には、3月中旬にデータ票と振込票を送ります

振込みは、4月20日厳守でお願いします

作品データ票の提出の締め切りは5月末日です



「モザイクの本」 参考作品



ラヴェンナの本屋さんの主催でモザイクの本展
が開かれました。
本をモザイクで作った作品が本棚に並べられて
います。2年ごとに4回開催されました。
この写真はフランスのモザイクマガジンという
雑誌の記事から無断掲載させていただきました。

今回の私たちの展覧会は展示棚がふんだんにあ
るわけではないので、なるべく壁に掛ける方法
での展示をお願いしたいところです。
それでもどうしても立体的で展示台が必要な作
品が多ければ、仮設の棚を作るなどの対応を考
えなければいけないと思います。



Arianna Della propose un grand geste ouvert à la lecture. Les deux façades ont été réalisées en terre cuite de grande porosité et se magnifient la nuit de lumière et de couleurs réfléchies en forme originale de globe.



Marta Traverso a choisi une petite culture en terre cuite, réalisée dans une forme unique à l'intérieur d'un ancien dérivatif de gaz. C'est la collection du Musée de Modène.



Travaux par les formes et les couleurs avec des pages en terre cuite réalisées dans les pages en mosaïque.



Le livre en forme ouverte, réalisé avec des pages en terre cuite en forme d'**Artemis Goussard**, il présente à la lecture une autre façon.



Le geste distinct en terre et sculpture, il présente un personnage en forme d'**Artemis Goussard** au lieu de lire une histoire. Les mosaïques réalisées en terre cuite sont réalisées par la main humaine.



Le geste de **Wilfredo Bruni** est une forme distincte de la mosaïque en terre cuite, réalisée par la main humaine de la collection de la collection.

糸魚川石探し

記・櫻井拓也



モザイクを愛好する有志と共に、新潟県は糸魚川市へ 11/23 に行った。

糸魚川近辺は、日本で有数の多彩な石が採取できる海岸がある。

中でも硬玉翡翠は宝石としても価値があり、高価で取り引きされている。

今回の私の目的は、モザイクの素材として使用したい緑色の原石拾い&翡翠も探るという事であった。

有志達は、私と同じ考えの者、翡翠のみ担う者、散策する者と様々であった。

私の成果としては硬玉翡翠と思われる小指の先ほどの原石を 2 個と、軟玉翡翠（ネフライト）の小物を 7 個、他に、キツネ石と呼ばれる翡翠に似たモザイクに使えそうな緑色の原石などを拾った。



海で濡れた原石は光っていて綺麗に見えたが、帰宅して乾燥させてみると濁った色になってしまう物が殆どであった。

磨きや削るなどして見て、素材を確かめようと思っている。

海で採取する原石は、酸性故にアルカリ性のモルタルと相性が悪く、割がれ易いという事を聞いた事があるのだが、水道水で洗い、塩素添加水（アルカリ性）に漬け中和すれば問題無いと思われるので、その辺りも試す予定である。

翡翠などは密度も濃いので、原石の中まで海水は入り込んではいないであろう。

糸魚川近辺には翡翠に関するミュージアムも点在している。私達は、フォッサマグナミュージアムへ入り、翡翠や様々な原石を鑑賞した。ここでは無料で、原石の鑑定を行なって貰える。

最後に、ひすい海岸まで歩いて 1 分の民宿「ひょうご」に宿泊したが、海鮮料理が大量で美味しく、お酒も進み、旅行としても楽しめた 2 日であった。

